

# 令和3年度 事業計画

令和3年5月1日～令和4年4月30日

公益社団法人 日本カーリング協会

1. 総会・理事会等開催
  - (ア) 社員総会の開催
    - ① 定時社員総会の開催 令和3年7月10日開催予定
  - (イ) 理事会の開催
  
2. 監査会の開催
  - ① 令和2年度 会計監査（東邦監査法人） 令和3年6月開催予定
  - ② 令和2年度 監査会 令和3年6月開催予定
  
3. 上部団体対応
  - ① 日本オリンピック委員会（JOC-NF 連絡会議、NF 支援センター会議、北京冬季オリンピック、WUG 派遣 他）
  - ② 日本スポーツ協会（公認指導者登録、新型コロナウイルス対応 他）
  - ③ JADA（ドーピング検査事業説明会 他）
  
4. 全国事務局長会議の開催  
令和3年9月 Japan Sport Olympic Square 会議室およびオンラインにて開催予定
  
5. 補助事業の申請・実施・報告業務
  
6. 広報・マーケティング活動
  - ① ホームページ、SNS の更新維持作業、記者会見の開催（PACC 直前日本代表チーム会見 他）
  - ② 令和4年度以降の協賛・大会放送契約等に向けた対応
  
7. 協賛企業対応  
全農、JAL、ARTISTRY、ニコンエシロール、ミズノ、大会協賛各社
  
8. 世界カーリング連盟（WCF）関係  
国際大会代表チーム派遣業務、PACC 開催対応等
  
9. 会計業務  
日常会計業務、月次(四半期)試算表作成、決算業務、納税、給与支払い、社会保険手続き 他
  
10. 募金対応  
Yahoo! Japan ボランティア募金、毎日アスリートパートナーズ、JAL ネクストアスリートマイル
  
11. 競技者登録・登録証発行

## 1、委員会の開催

- 年6回程度のweb会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
- 集合会議は1回開催。  
(2021年度の事業計画等が承認される定時総会又は全国事務局長会議に合わせて開催し、2021年度の活動、事業実務の詳細について協議。)

## 2、スポーツ庁制定「スポーツ団体ガバナンスコード」への対応

- 2019年に制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」による毎年の自己説明及び公表に対応。
- 令和5年度(2023年)の適合性審査に向けて昨年度の「自己説明及び公表」で示した未整備事項についての対応並びにロードマップの精査。

## 3、危機管理マニュアルの策定

- 「スポーツ団体ガバナンスコード」未対応案件である「危機管理」についてマニュアルを作成し、本年度中の理事会上程を目指し整備する。

## 4、新協会運営体制移行に関する規程類の整備

- 2022年度よりの協会運営体制に沿った規程類の策定及び改訂。
- 逐次理事会に上程し、総会承認が必要な案件は2022年度年次総会に上程。

## 5、役員選考規程の改訂(ガバナンスコード対応)

- 理事の再任は5期(10年)までとするよう改訂。次期役員改選時より適用。

## 6、登録証の発行(事務局依頼)

- 登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

## 7、その他

- 全国事務局長会議(JCA主催)に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。  
会議での意見や提案等については理事会へ報告する。

# 令和3年度 指導普及委員会 事業計画

指導普及委員会委員長 中村 義人

## 1. 委員会の開催

第1回委員会（主に事業計画の確認および具体的内容の検討）

期 日：令和3年7月上旬

会 場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（WEB 併用）

案 件：令和3年度事業計画ほか

第2回委員会

期 日：令和3年11月下旬～12月上旬

会 場：WEB 会議

案 件：令和3年度活動状況、令和4年度活動方針ほか

第3回委員会

日 時：令和3年2月下旬～3月上旬

会 場：WEB 会議

案 件：令和4年度事業計画、令和4年度予算ほか

## 2. 公認カーリング指導員の養成

区分	開催地・会場	開催時期	定員
コーチ1	岩手県（盛岡市） みちのくコカ・コーラボト リングリンク	2021年9月18（土）～20日（月・祝）	20人
コーチ1	広島県（広島市） ひろしんビッグウェーブ	2021年11月5（金）～7日（日）	20人

## 3. JCA カーリングスクールの開催

開催地 横浜市  
開催時期 未定（夏場で調整）  
受講者 60人・組

#### 4. 公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）事業への参加

- (1) 永年表彰候補者の推薦
- (2) 各種養成講習会等への候補者の推薦
- (3) 全国指導者連絡会議への参加
- (4) 指導者養成講習説明会への参加
- (5) その他

#### 5. カーリング指導マニュアルの改訂について

編集委員	指導普及委員会委員及び指導員
作業日程	令和3年4月～令和4年2月
編集会議	指導普及委員会及びコーチ養成講習会等を利用して開催（3回程度） 必要に応じて随時WEB会議を開催
納品時期	令和4年3月
印刷部数	400部
使用時期	令和4年度から

#### 6. カーリング指導普及備品の貸出し

フロアーカール	2セット
カーリングブラシ	80本
ステップオンスライダー	10枚

#### 7. カーリング未導入県への普及啓発活動

カーリング競技が導入されていない県や組織化されていない県に対し、カーリング情報の提供やミニスクールの開催などにより普及啓発を図る。

- ・日本選手権大会その他の競技大会の開催
- ・競技力向上事業の実施及び調査研究
- ・審判員の資格認定
- ・国際競技大会等の開催並びに国際競技大会への代表参加者の選定及び派遣

## ① 競技委員会の開催 〈350 千円〉

- ・ 第1回委員会(web)  
日 時：2021年6～7月 日 ( )
- ・ 第2回委員会(web)  
日 時：2021年9月 日 ( )
- ・ 第3回委員会 (350 千円) (2年に1回は地方にて開催を検討)  
日 時：2021年10月16日(土) [東京都] 場 所：東京都 JSOS
- ・ 第4回委員会 (Web)  
日 時：2022年4月2日(土)
- ・ 必要に応じ Web 会議を開催

## ② 審判員検定講習会及び研修会 〈600 千円〉

- ・ 第1回A級審判員研修会 (200 千円)  
開催日程：2021年10月9日(土) 13:00～18:00  
開催場所： 北海道札幌市・北海道立総合体育センター・きたえーる  
※出席審判員の旅費を支給 (予算の範囲内支給)
- ・ 第2回 A 級審判員研修会 (WEB)  
開催日程：2022年4月9日(土)
- ・ A級検定講習会 (本年度より毎年開催予定) 〈200 千円〉  
開催日程：2021年8月28日(土)～8月29日(日)  
開催場所： 北海道札幌市・北海道立総合体育センター・きたえーる
- ・ B級検定講習会 (200 千円)  
開催日程：2021年8月26日(木)～29日(日)  
開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク  
(第2回日本ミックスカーリング選手権大会)
- ・ C級検定講習会 (0 千円)  
開催日程及び場所 各都道府県協会にて決定のうえ実施

③ 審判部事業〈930千円〉

- ・審判部会議（290千円）

開催日程：2021年10月9日（土）～10日（日）

開催場所：北海道札幌市・北海道立総合体育センター・きたえーる

- ・必要に応じWeb会議を開催

- ・A級審判員派遣研修（500千円）

派遣大会：未定（WCFツアーなど国際大会へ派遣）審判部において検討

開催日程：未定

派遣場所：未定

- ・審判養成講習会マニュアル作成（50千円）

- ・競技規則翻訳・編集費用（90千円）

④ アイスメイク研究会事業〈1700千円：内22千円参加料〉

- ・アイスメイク研究会 Web会議（0千円）

開催日程：随時

- ・アイスメイクライセンス取得講習会（150千円：内10千円参加料）

開催日程：2021年 月 日（ ）～ 日（ ）

開催場所：北海道（稚内又は北見）

- ・アイスメイクライセンスステップアップ研修会（150千円：内12千円参加料）

開催日程：2021年 月 日（ ）～ 日（ ）

開催場所：北海道（稚内又は北見）

- ・アイスメイク備品購入費（700千円）

アイスキング用ブレード 3本（輸送用ケース代含む）

- ・JCAストーン輸送料（700千円）【Jr.・日本選手権・MD・代表決定戦・PACC予定】

⑤ 各種大会の開催日程及び開催場所〈23020千円〉

- 第17回日本車いすカーリング選手権大会（2350千円）

開催期間：2021年5月21日（金）～23日（日）

開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク

参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

- 2022 冬季オリンピックカーリング日本代表決定戦（仮称）（2150千円）

開催期間：2021年9月10日（金）～12日（日）

開催場所：北海道：稚内市 稚内市みどりスポーツパーク

参加チーム：女子2チーム

北海道銀行（2021年優勝）・ロコ・ソラーレ（2020年優勝）

競技方法：ベストオブ5（先に3勝したチームが代表となる）

- 2022 冬季オリンピックミックスダブルスカーリング日本代表決定戦（仮称）（2170千円）

開催期間：2021年9月18日（土）～20日（日）

開催場所：北海道：稚内市 稚内市みどりスポーツパーク

参加チーム：3チーム 吉田・松村（2021年優勝）・松村・谷田（2020年優勝）

竹田・竹田（WCT ポイント最上位）

競技方法：予選：ダブルラウンドロビンによる総当たり

決勝：ベストオブ5（予選の勝敗を含め先に3勝したチームが代表となる）

○第2回日本ミックスカーリング選手権大会（2000千円）

開催期間：2021年8月26日（木）～29日（日）

開催場所：軽井沢アイスパーク

参加チーム：12チーム（6チーム2ブロック）

各ブロック2チーム+前年度優勝・準優勝ブロック各1チーム

○第30回日本ジュニアカーリング選手権大会（3800千円）

開催期間：2021年11月16日（火）～21日（日）

開催場所：北海道：札幌市 どうぎんカーリングスタジアム

参加チーム：男女各8チーム

出場枠：北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地推薦：1

※出場辞退を辞退する場合は、2021年9月15日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会長宛に提出すること。

※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部

※初日は公式練習及びチームミーティング等の実施

○第12回全日本大学対抗カーリング選手権大会（1400千円）

開催期間：2021年12月3日（金）～5日（日）

開催場所：青森県：青森市 みちぎんどリームスタジアム

○第15回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会（2300千円）

開催期間：未定

開催場所：未定

参加チーム：前年度優勝1 前年度準優勝1 強化枠4

北海道：3 東北：3 関東：3 中部：3 西日本：3

※前年度枠が辞退の場合は3位には下げず強化枠

※開催地推薦は、ブロック出場枠に含める。

※競技方法～ベスト8で決勝トーナメント

※前年度優勝、準優勝枠選手の出場確認を事前に行う。強化委員会枠での確定及び周知が必要。

○第17回全国高等学校カーリング選手権大会（負担金 100千円）

開催期間：2022年1月27日（木）～30日（日）

開催場所：青森県：青森市 みちぎんどリームスタジアム

参加チーム 男女各5チーム

北海道：1 東北：1 関東中部：1 西日本：1 開催地：1



○第39回全農日本カーリング選手権大会出場決定戦（男女）（600千円）

開催期間：未定

開催場所：未定

参加チーム：男女各5チーム

・ブロック代表チーム 北海道：1 東北：1 中部：1 関東：1 西日本：1

○第39回全農日本カーリング選手権大会（男女）（5200千円）

開催期間：未定

開催場所：未定

参加チーム：男女各9チーム

- ・ブロック代表チーム（北海道1 東北1 中部1 関東1 西日本1）5
- ・前年度優勝、準優勝（強化チームA・B）2
- ・ワールドカーリングツアー（WCT）ランキング50位以内最上位チーム1（前年度優勝・準優勝チームを除く）  
該当するチームがない場合はワイルドカードに枠を移行する。
- ・ワイルドカードチーム1（日本カーリング選手権大会出場決定戦）

○第19回日本シニアカーリング選手権大会（950千円）

開催期間：2022年3月10日（木）～13日（日）

開催場所：北海道：妹背牛町 妹背牛町カーリングホール

参加チーム：

男子：北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム（2ブロック）

女子：北海道2、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計8チーム（2ブロック）

欠場枠＝前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う（北海道は優先順位1位）。

※日本協会として派遣費用の一部助成

⑥ WCF 開催事業

○2021 パシフィックアジアカーリング選手権大会（未決定）

開催期間：2021年11月6日（土）～13日（土）

開催場所：北海道：稚内市 稚内市みどりスポーツパーク

※審判員の協力体制については、審判部において検討。

※アイスメーカーの協力体制については、アイスメイク研究会において検討。

⑦ 2022年度事業

○第18回日本車いすカーリング選手権大会（00千円）

開催期間：2022年 月 日（金）～ 日（日）（JWCAにて最終決定）

開催場所：未定

参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

○第3回日本ミックスカーリング選手権大会（00千円）

開催期間：2022年8月 日（木）～ 日（日）

開催場所：未 定

参加チーム：12チーム（6チーム2ブロック）

各ブロック2チーム+前年度優勝・準優勝ブロック各1チーム

## 1. 強化事業の目標、課題

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

今年度の目標を、

- 1) オリンピック冬季競技大会（2022/北京）男子メダル獲得、女子金メダル獲得、ミックスダブルスメダル獲得
- 2) 2022年世界女子カーリング選手権大会プレーオフ進出
- 3) 2022年世界男子カーリング選手権大会プレーオフ進出
- 4) 2022年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会プレーオフ進出
- 5) 2022年世界ジュニアカーリング選手権大会男女プレーオフ進出
- 6) ユニバーシアード冬季競技大会（2021/ルツェルン）男・女プレーオフ進出とする。

強化の基本方針は、各カテゴリーの強化チームを海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。ミックスダブルスは、強化委員会推薦チームを中心に強化を進める。ジュニア、ユニバーシアードのカテゴリーのチームの競技力向上と国際経験の蓄積が課題である。これらのカテゴリーの強化選手を対象にした短期の国内強化合宿を実施し、レベルアップを図るとともに、より多くのチームを海外強化合宿に派遣し、国際経験を蓄積できるように計画し実行する。

2026年および2030年冬季オリンピックに向けた日本代表選考方法および強化計画について検討する。

## 2. 令和3年度強化事業

上記の目標に向けた強化事業を実施する。

- 1) 強化チーム・選手の指定および認定
- 2) 国内強化合宿の実施
- 3) 国内ジュニア強化合宿の実施
- 4) 夏季国内合同強化合宿の実施
- 5) 冬季国内合同強化合宿の実施
- 6) 夏季国内ジュニア合同強化合宿の実施
- 7) 北京冬季オリンピック日本代表選手選考
- 8) ワールドユニバーシティゲームズ（2023）の日本代表選手選考
- 9) 国際大会日本代表選考
- 10) 海外強化合宿（男女強化チーム、ジュニア強化チーム男女、学生日本代表）の実施
- 11) 国際大会への日本代表チームの派遣、強化スタッフ、サポートスタッフの派遣
- 12) 日本選手権大会、国際大会の視察

## 3. 令和3年度強化事業予算

- 1) 強化委員会開催年10回
- 2) 支出予算150万円（財源 会費等）
- 3) 強化事業（別紙、日本スポーツ振興センター）

## 1. 委員会の開催

## 2. ドーピング検査事業

- toto 費用申請
- JADA、大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- 検査立会い

## 3. アンチ・ドーピング啓発事業

- ① 研修会について
  - JCA 男女強化指定選手研修合宿（JADA 講師）
  - ジュニア男女強化指定選手研修合宿（JADA 講師）
  - 全国高等学校カーリング選手権大会
- ② 各ブロック大会で医科学委員がアンチ・ドーピングの情報提供(可能であれば研修会の開催)、TUE 指導
- ③ 選手権大会でプログラムに「アンチ・ドーピングのすすめ」の掲載
- ④ アンチ・ドーピング e ラーニング「FAIR PRIDE」の使用

## 4. 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

## 5. 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- 加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会
- 加盟団体スポーツドクター代表者会議
- アスレティックトレーナー連絡会議
- アンチ・ドーピング教育担当者会議
- アンチ・ドーピング教育活動者講習会
- アンチ・ドーピング定期研修会

## 6. トレーニング情報の提供

- 強化指定選手研修合宿、ジュニア男女強化指定選手研修合宿への参加など

## 7. 新型コロナウイルス感染症、その他の感染症の対策

- ガイドライン作成、見直し
- 大会での医科学委員の配置、体調確認、PCR 検査など
- 各都道府県協会への感染症等に関する情報提供

## 8. 大会時の医療体制の準備

予算について

- 集合会議(交通費、宿泊費)
- 各講習会参加(交通費、宿泊費)

## 1、委員会の開催

- web 会議は、毎月 1 回開催を基本とする。
- 集合会議は、年 1 回の開催を基本とするが、コロナの状況等により web 会議に変更の可能性有。
- 通報窓口に申し立てのあった場合や、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ随時 web 会議及びを開催する。

## 2、ガバナンスコードに関する取り組みの実施

- 「利益相反規程」の作成。
- 地方組織等に対して、ガバナンスの確保やコンプライアンスの強化等を浸透させるための適切な指導や支援を行える体制作り着手する。

## 3、コンプライアンスに関するセミナーの開催

- 強化合宿等（ジュニア強化選手も含む）で、選手及びコーチを対象としたコンプライアンスに関するセミナーを開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識の向上を図る。
- 役員を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関するセミナーを開催し、協会のコンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保を図る。
- 審判を対象としたコンプライアンス研修の提案。

## 4、新型コロナウイルス感染症に関連して発生した事案の検討

海外派遣事業での対応及び重大な意思決定を要する場合等

## 5、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員養成講習会における「コンプライアンス&バナンス」講習の実施

指導者としての、スポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

## 6、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、アンチドーピング、暴力根絶等への取り組みを推進する。

## 7、上部団体等（JOC, JSC, 日本スポーツ協会等）の開催する研修会への参加及び

アンケート調査への協力

上部団体、関連団体の研修等に理事等も含め積極的に参加し、コンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保に努める。

# 令和3年度 環境特別委員会 事業計画

環境特別委員会委員長 平間 初恵

\*委員会開催（集合会議・東京） 1回  
（web会議） 2回

\*環境啓発横断幕掲示（日本ジュニア選手権・日本選手権・日本 MD 選手権等）

\*各協会カーリング施設への環境啓発ポスター掲示

\*環境啓発 DVD の活用

\*主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動

（感染拡大予防も兼ね、参加選手・スタッフへのゴミの分別、持ち帰りの徹底）

\*JOC スポーツ環境専門部会の会員としての活動

（JOC スポーツ環境専門部会会議・スポーツ環境地域セミナーの参加）

\*大会プログラムのデジタル化で紙媒体を減らすなど、環境啓発を行う

## 1. 委員会の開催

- web 会議を必要時に開催。
- 年に 1 回、集合会議を開催。

## 2. 収益化の推進

- 代表決定戦、日本選手権、日本 MD における有料観覧の管理。
- 主に上記大会における大会協賛社の獲得。
- youtube の大会動画配信における収益事業の検討。
- 令和 2 年度に引き続き MIZUNO と JCA 公式グッズ制作協力。

## 3. 対外広報活動

- テレビ局と大会放送に関する各種調整。
- youtube の大会動画配信に関する各種調整。
- マスメディア、WEBメディアへの情報発信と管理。
- 協会公式 SNS を通じた情報発信。

## 4. 協賛社の契約書精査

- 事務局と連携し、契約にあたって契約書の精査、確認。

## 5. その他

- 北京五輪の代表枠を獲得した場合、それに伴うマーケティング活動。
- 2022 年度以降の日本選手権横浜開催の実現に向けて継続考査。



# 令和3年度 アスリート特別委員会 事業計画

アスリート特別委員会委員長 橋本 祥太郎

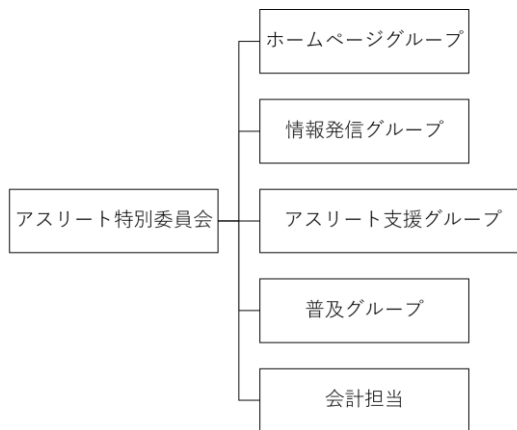
## 1. 目的

競技・選手に関する事項、競技の発展、振興、普及に関する事項、社会的貢献や選手の活動、生活に関する事項について競技力向上のための環境をより良くして行く為に意見や情報を審議、精査し理事会に提案する事を目的とする。

## 2. 委員一覧（敬称略・順不同）◎：委員長 ○副委員長

松平 齊之、安斎 秀一、金村 萌絵、松村 雄太、藤澤 五月、近江谷 杏菜、苫米地 賢司、市川 美余、石垣 真央、◎橋本 祥太郎、西室 淳子、両角 友佑、柏木 寛昭、山口剛史、○荻原 久美子、吉本 晋也、北村 雅美、松本 幸彦（アドバイザー）

## 3. 組織図



## 4. 2021 年度活動目標

年 4 回の特別委員会会議（内、2 回を集合会議とする）。第 1 回は JCA 総会後とする。

キッズキャンプまたはそれに代わる行事の開催。

ホームページ周知活動。各種大会でのチラシ配布を予定。

スポーツ庁委託事業の選手への通知

日本選手権、日本ミックスダブルス選手権におけるキッズスペースの需要調査ならびに設置準備。

WCT・WCF ランキング等の情報収集ならびに情報発信

## 5. 2021 年度予算案

200,000 円（2 回の集合会議の委員への旅費宿泊費、JOC アスリートフォーラムのなどへの出席等）

500,000 円（キッズキャンプなどの事業費として。協賛団体とのタイアップができれば予算の縮小も可）

100,000 円（アスリート支援の準備活動）

## 6. 各グループ活動計画（敬称略・順不同）◎グループリーダー

### ・ホームページグループ（松平、藤澤、◎橋本、苫米地）

（内容）アスリート特別委員会ホームページの維持管理、ホームページ運用マニュアルの適宜修正、寄せられた意見等への対応

（今年度目標）「アスリート特別委員会ホームページの認知向上」

JCAに選手登録する選手に向けて、ホームページの存在ならびに活用を告知する

### ・情報発信グループ（両角、◎近江谷、安斎、橋本、市川、山口）

（内容）世界のカーリング情報の発信、WCTへの参加方法等の情報発信、海外各地のリンクならびに周辺環境の情報発信

（今年度目標）「WCTへのチーム登録マニュアル公開」

チーム登録マニュアルを作成し、アスリート特別委員会ホームページで公開する。

「最新カーリング情報の収集・発信」

最新のカーリング情報・情勢を収集し、理事会や事務局へ報告する。

### ・アスリート支援グループ（西室、◎金村、橋本、荻原、北村、石垣）

（内容）アスリートの活動支援、子育て支援等の検討、研究

（今年度目標）「支援サポートのアスリートへの伝達」

適宜、支援サポートに関する情報を対象選手へ発信する。

「育児支援サポートの運用開始」

日本選手権、日本ミックスダブルス選手権におけるキッズスペース設置の需要調査を行い、設置準備を進める。

### ・普及グループ（松平、◎松村、橋本、柏木、吉本）

（内容）年1度のアスリート委員会による普及支援（ジュニア体験会、クリニック、アスリートカップ等）の計画、実行。

（今年度目標）「2021年度キッズキャンプの企画」

開催に向け、開催場所の確保、スポンサー集め、内容検討等の準備を進める。

開催困難な場合は、代替企画を実施する。

1. WCF 等団体との折衝
  - ・ 依頼要請等発生により随時
2. JCA 各委員会との連携
  - ・ 各委員会委員異動に伴う国際委員会委員指名要請（必要に応じて）
  - ・ Annual General Congress (AGA: 年次総会) 等に向けた JCA 意思確認
  - ・ その他随時
3. 委員会開催
  - ・ 集合会議（年2回程度：WCF 総会直前・OpenMeeting 直前）
  - ・ Web 会議（Skype 等。随時）
4. WCF 関連会議への評議員派遣
  - ・ WCF 総会（おそらく 2021/09 @St. Petersburg, Russia）
  - ・ Open Meeting（おそらく 2021/03 (WMCC 時)）
  - ・ PA Zone Meeting（おそらく 2021/fall (PACC 時 (稚内))）
5. 国際関係力強化への検討
  - ・ 以下に関する検討
  - ・ 国際審判員等資格に関する調査
  - ・ WCF 関連イベントへの派遣
  - ・ JOC や他競技 NF との連携
6. 予算案
  - ・ 委員会経費（WCF 関連派遣費用は事務局より支出のため計上せず）
  - ・ 会議室利用料 18,000 円（年1回想定）
  - ・ 参加旅費 100,000 円
  - ・ 事務経費 10,000 円

合計 128,000 円